

TYPE OF
INDUSTRY

中小企業・地域経済



町工場の技

モノづくり支える

138

日本ゲージはエレベーター部品などの精密板金加工（写真）や溶接を手がける。精度を追求し地道な作業に徹する姿勢が同社の特徴だ。最近確立した、工作機械で目盛りとなる

日本ゲージ

製品に使う「チャンネル」という部品の製造技術にも、その姿勢が垣間見える。他社が以前に製造していたチャンネルは不良率が90%にも達していたという。同社がこれを請け負い、各工程で設備の加工条件や加工

「チャンネル」超高精度製法を確立

工方法などを変え、試作と検証を重ねた。その結果、通常の板金加工では極めて困難な平坦度 ± 0.05 （マイクロは100万分の1）、曲げ精度 ± 0.1 という精度を実現。不良率も2%と大幅に低減させた。4月には製品品質の向上などに貢献した技術者を表彰する文部科学省の「創意工夫功労者賞」に同社技術者3人が選ばれた。茨城からは9社14人が受賞し、県内中小企業の選出は4年ぶり。受賞者の1人、製造部の久代伸一課長は「『気づき、改善する』という当社の方針が良い結果につながった。3人だけでなく社内全員で生み出した成果だ」と強調する。

▽社長 山内十一郎氏
▽所在地 茨城県茨城町、029・292・2511
▽売上高 11億4千万円
▽従業員 74人
▽設立 53年（昭和28年）7月

（火曜日に掲載）

純国ハテつ把（▽）とを高リア再戻高ク環区（非）業と画をき、事業東



直し、制度、バナ、今後、関

開四

3Dプリンターを組み立てる小高工高の生徒
山形県内で同事業を主催する「やまがたメタルモーター」が駆動部